



佐久の札所

第20番札所 弥勒寺（下の宮）

南佐久郡小海町稲子612



稲子集落の外れ、弥勒寺脇に山に入る古びた急な石段を登り、石仏群、石碑があり、その先に弥勒寺本堂とされる観音堂がある。稲子弥勒寺（稲岳山統卒院）は天台宗に属し寛文七年（1667）創建にして松原神光寺の末寺となる。明治元年、神仏分離令により神光寺本地仏を神社奥殿から取り外した。弥勒寺には普賢菩薩・千手観音の座像が厨子共に一昧ずつと、地藏尊座像一昧が預けられ、弥勒寺はこれを地続きの観音堂に納め安置した。

もくじ

支部長あいさつ	2
建築課長あいさつ	3
中間報告	4～5
委員会活動について	6～7
新入会員の紹介	8
フットパス	9
賛助会員の紹介	10
恩師 出澤潔さんを偲んで	11

新年のご挨拶

公益社団法人 長野県建築士会佐久支部 支部長
高橋 三七人



新年明けましておめでとうございます。

旧年中会員のみなさまには、建築士会の活動に多大なるご理解とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。私たち建築士にとって、建築を通じて社会に貢献し、地域の発展を支えることは重要であり誇りでもあります。そのためには、日々の研鑽と実践を積み重ねることが何よりも重要であると考えます。

昨年も多くの方のご尽力により、地域の建築文化の発展や社会貢献活動を進めることができたと思います。そして、その活動等を支えてくださるのは、会員の皆さまの日々の研鑽による力によるところです。改めて感謝申し上げます。

本年も、建築士としての使命を胸に、地域社会に寄り添いながら、さらなる信頼と価値を創出する活動を展開してまいりたいと考えております。特に、若手育成や地域防災、環境に配慮した建築づくりに注力し、未来を見据えた取り組みを推進してまいります。

また、昨年も申し上げましたが、会員減少になかなか歯止めがかかりません、そして建築士会の平均年齢は年々上がっています。会員、賛助会員の交流や建築士会の活動を活発化し若い会員を増やしていくことが、今後の建築士会にとって最も重要なことであると考え行動していきたいと思います。

どうか皆さまにおかれましても、建築士会佐久支部・本会の活動に引き続きご支援を賜りますようお願い

いたします。

昨年は、元日の能登半島地震にはじまり、8月の宮崎での地震、そして9月には石川県能登半島を中心に豪雨による災害と、ここ数年全国各地で大きな災害がおきています。

宮崎の地震の際には、初めて南海トラフ地震臨時情報が発表されています。

これらが地球温暖化による異常気象によるものなのかは分かりませんが、自然災害に対して改めて考えさせられる一年でした。

建築士としてできることは、省エネ等に配慮した建物を設計・施工していくことが地球温暖化対策の一助になるのではないかと思います。そして、4月には、建築物省エネ法・建築基準法の改正が施行されます。そのために、昨年から講習会や、サポート体制が構築され、大きな混乱がおきないような対策がとられています。

しかしながら、実際に動き出さなければわかりませんが、会員の皆さまの業務に対する影響が少なくなるよう、県・長野県建築士会と協力していきます。

本年が皆さまにとって健康で実り多き一年となりますことを心よりお祈り申し上げます。そして、建築士会佐久支部のさらなる発展と、会員の皆さまのご活躍を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

新年のご挨拶～持続可能で美しい「まち」のためにできること～

長野県佐久建設事務所 建築課長
三好 由美子



佐久建設事務所で迎える3回目の新年です。

長野県建築士会佐久支部の会員各位には、日頃から長野県の建築・住宅行政に多大なる御協力と御理解を賜り、誠にありがとうございます。

今回の会報「ちくま」への寄稿は後任の建築課長になりますが、引き続き、長野県と佐久建設事務所に変わらぬご支援をお願い申し上げます。

ところで、会員の皆さまは、何がきっかけで建築の道に進みましたか？

私が建築に関心を持つようになったのは、20代半ばでした。旅行で当時の西ドイツに行き、ハイデルベルクやローテンブルク、フュッセンの街並みに感動して帰国しました。今にして思えば、来日した外国人が、奈良井宿や白川郷だけを見て「母国よりも日本の街並みは美しい！」と称賛する感情に近かったわけですが、その旅行が、「建物に関わる仕事をしたい」という契機となりました。

その後、入学した技術専門校で建築製図科の先生に長野県職員を勧められ、建築を学び始めて数ヶ月の時点で採用試験を受け、なぜか合格することができました。そんな経歴ですから、建築についての学びも独学に頼るところも多く、今でも身についた知識が偏っているのではないかと、と思っています。

確認申請の審査をするなら「建築主事の資格がないと将来困らないか？」と考え、四半世紀前になりますが、建築士のほかに建築主事も取得しました。もっとも、当時の主事試験は、今の建築基準適合判定資格者検定よりも、問題がずっと簡単でした。

街並みや景観に関心を持って踏み込んだ建築の世界ですが、33年間の県職員生活には、この3月で区切りをつけることにしました。今、心に浮かぶのは、「少しでも、街並みの保全や景観の向上に寄与することができたのだろうか？」という思いです。

「まち」には、景観の保全以外にも、課題があります。その最たるものは、道路や上下水道などの社会基盤施設にかかる維持管理費だと思っています。耐用年数を超えた水道管が更新できないとか、壊れた橋の修繕や架け替えができないといった事態の原因は、必要な維持管理費に対する国や地方公共団体の財源不足です。確保できる維持管理費に対して、まちの規模が大きくなりすぎた、ともいえます。

橋が通行できなければ遠回りをしなければなりませんし、老朽化した水道管が破裂したのに直せなければ、生活自体が成り立ちません。それにもかかわらず、社会基盤施設の維持管理費が膨大すぎて、想像もできないのが住民としての実感です。衣服なら、「クリーニングに出すと1回2,000円かかるから、スーツは5着以内にしよう」とは考えられますが、「この橋を維持するのに10年間で●億円かかるから、造らなくていいです」と言えるでしょうか。

景観の維持保全は、誰か一人が頑張っているものではありません。逆に、良好な街並みであっても、たった1棟、そぐわない建築物が建てられてしまうと、景観が台無しになってしまいます。社会基盤施設も、利便性だけでその必要性を判断すると、維持管理費を数十年先の世代に負担してもらうことになりかねません。

私たちの「まち」について、誰もが、小さくてもよいので自分でできることを考え、それを行動に移すことが、持続可能で美しい「まち」につながるのではないかと、思う今日この頃です。

最後になりますが、長野県建築士会佐久支部の益々の御発展と、会員各位の更なる御活躍と御多幸を祈念申し上げます、会報「ちくま」第72号発刊に寄せた御挨拶といたします。

3年間、大変お世話になりました。

令和6年度事業中間報告

月 日	行 事 名	場 所
4.2	第8回地域貢献委員会	佐久市民創錬センター
4.3	東信ブロック連絡会議	鮮の花壺
4.10	第5回三役会	かつ栄
4.10	第3回青年女性委員会	柏屋旅館
4.17	第6回三役会及び第5回幹事会	佐久市民創錬センター
5.9	第14回協議会	佐久グランドホテル
5.14	第1回地域貢献委員会	佐久市民創錬センター
5.15	空き家相談会	佐久合同庁舎
5.16	三役会	長野県建築士会館
5.21	県理事会	長野県建築士会館
5.23	第1回情報広報委員会	佐久市民創錬センター
5.25	蒸気浴NAGOMI見学・サウナ体験会	蒸気浴NAGOMI
5.25	第1回青年女性委員会	蒸気浴NAGOMI
5.28	県総合防災訓練第1回全体会議・分科会	小諸市市民交流センター
5.29	佐久市総合防災訓練打合せ	佐久市役所
5.29	県第74回通常総会	THE SAIHOKUKAN HOTEL
6.6	佐久市総合防災訓練及び県総合防災訓練打合せ会議	佐久市民創錬センター
6.8	第2回情報広報委員会	南牧村
6.12	第1回総務企画委員会	Zoomミーティング
6.14	空き家相談会	佐久合同庁舎
6.14	東信ブロック役員会	上田市
6.19	建築指導員パトロール	佐久地区
6.19	建築指導員パトロール	南佐久地区
6.20	建築指導員パトロール	御代田・軽井沢地区
6.21	県三役会	長野県建築士会館
6.22	関ブロ青年協千葉大会	千葉県
6.25	建築指導員パトロール	小諸地区
6.26	長野県総合防災訓練第2回全体会議・分科会	小諸市市民交流センター
6.27	佐久市総合防災訓練打合せ会議	Zoomミーティング
6.28	県理事会	長野県建築士会館
6.29	佐久市総合防災訓練への参加	佐久市内の避難所5か所
7.2	第1回地域まちづくり委員会	Zoomミーティング
7.8	第2回地域貢献委員会	佐久市民創錬センター
7.9	東信ブロックゴルフコンペ	浅間高原カントリー倶楽部
7.12	空き家相談会	佐久合同庁舎
7.18	第1回三役会及び第1回幹事会	佐久市民創錬センター

月 日	行 事 名	場 所
7.23	佐久木造住宅耐震推進協議会	かつ栄
7.24	長野県総合防災訓練第3回全体会議・分科会	小諸市市民交流センター
7.24	第3回情報広報委員会	ビーブレックス
8.6	第3回地域貢献委員会	佐久市民創錬センター
8.15	空き家相談会	佐久合同庁舎
8.20	第4回情報広報委員会	ビーブレックス
8.22	東信ブロック理事会	Z o o mミーティング
8.27	応急危険度判定活動の県との意見交換会	Z o o mミーティング他
8.29	県三役会	長野県建築士会館
9.4	三団体親睦ゴルフコンペ	佐久リゾートゴルフ倶楽部
9.6	県理事会	長野県建築士会館
9.11	第2回総務企画委員会	Z o o mミーティング
9.13	空き家相談会	佐久合同庁舎
9.16	第2回青年女性委員会	照龍
9.17	第4回地域貢献委員会	佐久市民創錬センター
9.19	第2回三役会及び第2回幹事会	佐久市民創錬センター
9.20	県ゴルフ大会	長野国際カントリークラブ
9.20	長野県総合防災訓練第3回全体会議・分科会	小諸市市民交流センター
10.3	第3回総務企画委員会	Z o o mミーティング
10.7	第5回地域貢献委員会	佐久市民創錬センター
10.11～12	三団体合同研修旅行	福井県
10.13	親子で作ろう！ウッドクラフト	イオンモール佐久平店
10.15	空き家相談会	佐久合同庁舎
10.15	建築工事パトロール	小諸地区
10.15	建築工事パトロール	御代田・軽井沢地区
10.16	建築工事パトロール	佐久地区
10.17	建築工事パトロール	南佐久地区
10.20	長野県総合防災訓練	小諸市総合体育館
10.26	第5回情報広報委員会	小海町
10.30	東信ブロック役員会	上田合同庁舎
11.12	第6回地域貢献委員会	佐久市民創錬センター
11.15	東信ブロック役職員連絡協議会	大手町会館
11.27	令和7年4月改正建築物省エネ法・建築基準法施行に向けた事業者向け講習会	佐久合同庁舎
11.29	県三役会	長野県建築士会館
11.29	ウッドクラフト反省会	さらさ

令和6年度

総務企画委員会活動報告

総務企画委員長 上原 啓二

新年明けましておめでとうございます。新春を迎え、皆様のご多幸とご健勝を心からお祈り申し上げます。

令和6年度の総務企画委員会の活動について報告いたします。

親睦ゴルフの関係ですが、東信ブロックゴルフコンペは上小支部が担当し、7/9に浅間高原カントリー倶楽部にて17名で開催され、佐久支部からは8名が参加しました。三団体ゴルフコンペは、建築士会が担当で9/4に佐久リゾートゴルフクラブで開催され、23名の参加がありました。また、県ゴルフコンペはながの支部が担当で9/20に長野国際カントリークラブで開催され、69名の参加、佐久支部からは10名が参加し開催されました。関係者、参加者の皆様お疲れ様でした。

緊急災害時連絡網は市町村及び関係者に配布が完了しました。災害時に県・市町村との協定に基づいた被災建築物応急危険度判定を実施する際に重要な連絡網ですので、実情に合わせた更新を毎年行っています。

会員の手引は昨年度に令和5・6年度版を作成したため、更新はありませんでした。会員名簿の他、建築士会の定款や規約、組織図等も掲載されています。個人情報取り扱いに注意しながら利用してください。

三団体合同研修旅行は事務所協会が担当で10月11日～12日の一泊二日の日程で実施されました。27名の参加があり、福井県のあわら温泉に宿泊し、一乗谷朝倉氏遺跡博物館や、年縞博物館等の見学をしてきました。北陸新幹線、約2時間で福井駅です。北陸方面が身近になったのを改めて実感しました。

新年講演会は2025年の春の建築基準法の改正に関する講演会を企画しています。技術的なことよりも、業界に与える影響や、今後の業界予想をわかりやすく、一般の方にも向けて講演していただこうと思っています。

令和6年度も残りわずかですが、引き続き、支部長をはじめ副支部長、副委員長、委員と協力しながら委員会活動を行なっていきたいと思います。

令和6年度

情報広報委員会

情報広報委員長 両川 正

初春のお慶びを謹んで申し上げます。

昨年は情報広報委員会の活動に、原稿や写真の提供を頂いた皆様には、心より感謝申し上げます。

また、昨年の委員会活動では、コロナ禍で延びておりました建築士会佐久支部のホームページが刷新されました。以前はホームページビルダーによるもので古さが否めない感がありましたが、新しいものはワードプレスにて作成致しております。ホームページの記事をブログのような感じでアップ出来ます。各委員会の活動もタイムラグがない様に掲載が出来ればと、委員会では話題が出ております。今後この辺りはペーパーよりWEBが迅速に会員の皆様と情報共有が出来るのかと思います。

余談ですが、今回お付き合い頂いたホームページ制作会社さんには、建物を3Dで撮影できるカメラがあり、それを活用して室内を撮影すると、ネット上でバーチャル見学会の様な事も可能との事です。例えば、建売住宅の内覧が、ネット上で室内を歩いているかの様な体験が出来ます。建築業界では需要のありそうなハードだと思いました。

本年も写真や原稿の依頼をお願いすると思います。本業がお忙しいところ恐縮ではございますが、ご協力の程、宜しくお願い致します。

そして、皆様方には明るい一年であるようご祈念申し上げます。



令和6年度

令和6年度の委員会活動について

地域貢献委員長 小泉 正樹

新年あけましておめでとうございます。

地域貢献委員会では昨年も秋恒例の「ウッドクラフト」と「防災マップの整備」を行いました。

今年度のウッドクラフトでは長野県建築士事務所協会の「建築士事務所キャンペーン」との共同開催で、キャンペーンでのくじ引のお陰もあって参加されたご家族にはより楽しんで頂けたと思います。

少し残念な事はここ数年ご協力頂いていた「上田情報ビジネス専門学校」の学生さんが資格試験日と重なって全く参加頂けなかった事と、毎年ご協力いただける会員の顔ぶれが変わらない事です。

一度参加して頂ければ、夢中で制作に取り組む姿や出来上がった作品を手にして嬉しがる子供たちの笑顔を目にする事で次回も参加しようと思って頂ける筈なのですが…

来年度は様々な方が参加し易い11月下旬の開催を計画中です。また終了後には楽しい反省会もありますので、来年こそ初めての皆さんのご参加を委員一同待ちしております。

もう一つの事業「防災マップの整備」につきましては、なかなか進まなかったUSBデータの作成・配布ですが、なんとか今年度中の完了を目指し現在作業中ですのでもう暫くお待ち下さい。

こちらについては利用されずに済むに越した事はありませんが、万一有事の際にはより良い活用が出来るよう今後も検討をしておりますので、関係者の皆様には「防災マップ」の積極的な利活用をお願い致します。



新入会員の紹介

伴野さゆり

この度、長野県建築士会佐久支部に入会させていただきました株式会社トモノの伴野さゆりと申します。

佐久穂町出身で現在も佐久穂町に住んでおります。

短大卒業後、地元に戻りハウスメーカーに入社し展示場接客、コーディネーター業務をしておりました。20代の新卒が接客するにあたり名刺に何か資格があった方がお客様も安心感があり、自分も自信を持って接客できるのではないかと思います。二級建築士を取得しました。

結婚後退職し、家事育児をしておりましたが自宅建築を機に鉄工所を営んでいた主人と住宅会社を始めました。

家づくりを通してたくさんの方に笑顔になってもらいたい。

長く安心、快適で、健康に暮らせる家づくりをする。

家を建てるうえで当たり前のことですがそれをブレずに行い、お客様は「大切な友人」と考え、発言、行動、判断することをモットーに仕事をさせていただいております。

そのためには今後も学びが重要だと考えております。

建築士会の皆様は専門知識の学びはもちろんの事、災害時やその対策、連携等、地域のための活動をされていることを知り、ぜひ自分もスキルアップ他、地域貢献も出来るような活動が一緒にできればと思います。入会をしました。

どうぞよろしくお願いいたします。



新入会員の紹介

久保田耕作

長野県建築士会佐久支部に入会しました久保田耕作と申します。

私は、東京都内で約24年間会社員をしておりました。主に首都高速道路(株)やNEXCO、国交省関連の道路向け電設資材の設計製作会社で技術営業を担当しておりました。入札案件が対象となるため、工事を落札した、いわゆるサブコンさんを相手とした業務を中心にやってまいりましたが、併せて製品の開発にも携わっておりました。

そんな折、以前から一軒家を探していた所、コロナ禍の中で長野県東御市に格安の日本家屋を発見、その土地が気に入り飛びついて購入した事から、長野県に移住する事となりました。購入した家屋は傷みが酷く、手直しするにも分からない事だらけであった為、木造住宅の知識を補完すべく愛知産業大学の通信課程にて建築学を専攻し、どうにか卒業、その後、運良く2級建築士試験に合格することが出来ました。建築士になった事から、建築の話をしたり、相談話を聞いたりしている内にいつしか建築士として活動していく事に魅力を感じ始めました。

その決定打となったのが軽井沢で「杜の工房」を展開している両川さんの存在です。以前より両川さんとは共通の友人である哲学者の内山節氏を通して繋がりがあり、事あるごとに気にかけてくださっていたのですが、建築の話をしている内にその考え方に強く共感する所があり、気付いたら所属建築士にさせていただいておりました。このような流れで運良く建築の師匠を得ることができ、何かに導かれるかのように会社を離れて建築士の道を歩んでいく事となった次第です。

現在は、両川さんに師事しながら建築とは何かを勉強しているところです。私もそうでしたが、信州に住む方の中にはその自然に惹かれている方も多いと思います。お客様の希望する住宅を設計することを第一とし、その中にあってもどこか住んでいる土地の自然と繋がりを感じられるような家を提供できる建築士になりたいと思っております。

何卒、ご指導のほど、よろしくお願いいたします。

フットパスイベントご報告

山田まどか

飯田 智

11月4日の振替休日、晴天に恵まれて御代田フットパスで秋のイベントを実施しました。

3つあるルートに、「自然観察フットパス／地元フットパス／古地図フットパス」と各テーマを設定し、どれくらい来てくれるかなと手探りの開催でしたが、当日まで少しずつ申し込みが続き、ちょうど想定した定員くらい、午前午後で延べ95名のご参加があり、それをお迎えした有志スタッフは14名、1歳から80歳代まで、文字通り老若男女でののどかな散策光景となりました。

受付で待機していた私は、歩く前後にお昼のミニマルシェに集まって来た方々の様子を見るのみでしたが、なんとなく上機嫌の方が多く、「フットパスとは、地域に昔からあるありのままの風景を楽しみながら歩くことができる小径のこと。」と紹介している、その通りの時間となったなら良いと思います。

フットパスのもう一つの特徴は「訪れた人がマップを手に歩く」なので、今回ガイドさんの案内で歩いた皆さんが、今度は別のルートも自分で歩いてみようと思ってくれば、なお嬉しいです。

御代田フットパスは地域の魅力と財産を、初対面、また顔見知りの方と一緒に歩く事で再発見し、学ぶことができるそんな素敵な小径の散歩です。

11月4日、天気心配もありましたが、すっきりと晴れ渡り、多くの方の参加のもと、皆でフットパスコースを散歩しました。

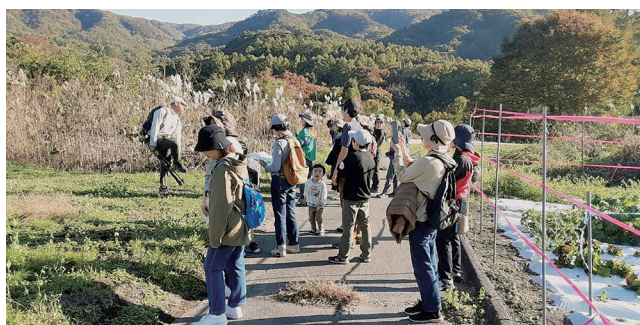
私は午前中Bコースに参加させて頂きました。

かつての城跡の紹介、神社にそびえる木の高さをどのように測るのか、浅間山が美しく望める小高い丘で季節の移ろいを楽しむコツなど。探検のようなフットパスに、歩く足取りも軽快になります。

午後のAコースでは、コース内に残された足跡の正体は何の生き物かクイズに頭を抱え、崖にあるスズメバチの巣作りの秘密。いい香りがする植物の枝を、皆でわいわい嗅いでみたり、熊の食事の跡を、木の上に見つかったり。地形と浅間山の噴火の秘密を教えてもらったりと、フットパスコースが自然教室になりました。

初対面の参加者の皆様とも自然と会話が生まれ、老若男女楽しい散歩となりました。

地域の価値と人のつながりの価値を感じる一日となりました。



賛助会員の紹介

木下建工株式会社

弊社の創業は、1949年に関東地方を襲ったキティ台風により、長野県南佐久地方が大きな被害を受けたことに始まります。

長野県からの要請に応じ、創業者含む技術者が飯田市から復旧工事にあたり、その後南佐久で独立しました。こうした成り立ちと、長野県という急峻な地形、四季の厳しい環境条件で歴史を重ね直営施工力が磨かれました。

近年、気候変動により局地的な豪雨の増加、強大な台風などの異常気象が自然災害をもたらしていることを災害対応の最前線で実感した弊社、20世紀の終わりに「循環型社会の実現」をビジョンと定め、社会に先駆けて「作るだけではなく長持ちさせる技術」に取組み、事業構造を転換して構造物・建築物の長寿命化を手がけてきました。

弊社が大切にしているのは技術と技能の深さと幅広さです。構造物・建築物の長寿命化には、ひとつひとつ異なる現地状況に対応できる深さと、少量他工種を効率よく施工できる幅広さが求められます。そのため弊社は技術者だけでなく、技能スタッフ（職人）も新卒含め正社員で採用し、インフラ再生の多能工として育成しています。この内製化により調査から多工種の施工と管理まで社内で一貫して対応可能です。また、弊社はどのメーカー系列にも属さない独立企業で、多様な特許使用権を保持し、お客様にもっとも有効な工法や材料を提案できるよう心がけています。

近年日本でも、既存のインフラをいかに長く使い続けるかが社会の命題となりつつあります。RCの漏水補修、耐震補強やリノベーションなどでお困りの方はぜひ一度ご相談ください。



賛助会員の紹介

綿半ソリューションズ株式会社

「初めまして！」綿半ソリューションズ(株)・岩佐祐司と申します。

平素より格別の御配慮を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここ4年程、北信担当として、営業活動をしていましたが、今回、組織変更に伴い、東信地区も担当させていただく事になりました。貴士会の事業等には、私が参加させていただきますので、よろしくお願いいたします。

私は、福岡県出身で、大分で育ちました。前職の新入社員時に長野支店に配属され、長野県全エリアを担当地区を代えながら、15年程営業し、その後、首都圏・静岡県に延べ10年程の単身赴任と当社での長野勤務を経て、現在にいたります。

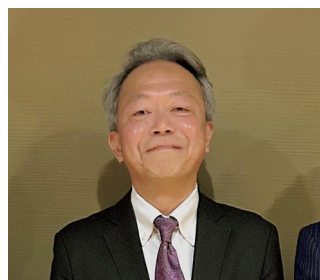
長野県で家庭を持ち、早、28年程、長男は今年首都圏で家庭を持ち、長女は県内で学生生活を満喫中です。

私はというと、ここ数年、全く似合いもしない町の役員等やらせていただき、行事の渦に巻き込まれ、悪戦苦闘の毎日です。時がたつのは本当に早く、自分を取り巻く環境も、知らない内に変わっていきます…

趣味は、長男が野球をやっておりましたので、今でも、「高校野球観戦」が大好きで、自分でも「おっさんソフト」をプレイ中。大好物は、「麦焼酎」です。またぜひ、皆様とご一緒させてください！

さて、常日頃、皆様には、屋根・外壁工事等で、大変お世話になっている事と思います。手前みそではありますが、工種に拘らず、皆様がお客様に御提案される際の選択肢の1つとなる様な「特徴のあるおもしろい新商材」の御紹介も心掛けていきたいと思っておりますので、ぜひ、当社に御期待ください。おじゃまにならない程度に、お相手していただきたいです。

「これから、ぜひ、よろしくお願いいたします！」



恩師 出澤潔さんを偲んで

鎌田賢太郎

浮ついた建築学生だった23年前、大学を卒業して出澤事務所に入所した。大学教育や建築雑誌の偏った情報から思い描いた建築業界の理想と打って変わり、佐久地域の地味な現実に直面し、当時は出澤事務所に入所した事を悔いていた。その不満から入所3ヶ月で出澤さんと大喧嘩して辞めかけた事もあった。そんな若輩なバカを見捨てず、地に足のついた建築士に育ててくださったおかげで、今日の自分がある。

大学教育で学んだことは即戦力として役に立たず、業務でやっと図面を描くようになり始めた頃、出澤さんからの図面のチェックバックで「寸法線の間隔が1mm広いから全て描きなおせ」と指示された。当時は「そんなどうでもいい事…嫌がらせか?」と反発心でイライラしつつ、夜遅くまで何枚も図面を修正したことを覚えている。そして今、自分の描く図面は寸法線の間隔に限らず、文字サイズ、線の太さ、バランスやプロポーションなど、人並み以上に図面の美しさを意識できるようになった。思い返すと、当時は嫌がらせと捉えた出澤さんの一言は、図面を描くという設計の真髄を含んだ金言だった。雄弁な指導ではなかったが、設計に向かう真摯な姿勢は、日頃の優しい雰囲気とは一変して、厳格な強い意志と責務を背負い、設計という職能の重さを教授してくれていた。

「出澤さんの設計料は安すぎる!」時々耳に入る声で、所員時代の僕の給与も…。当時は理解できず不満であったが、これも出澤さんの清貧の生き方だった。必要以上の利は求めず、高額となる建設費に最小限の設計費で施主の一助となる。お人好しがすぎる気もしたが、この実直さが多くの方に信頼され尊敬される所以であったと思う。誰もが認める建築家でありながら「まだその呼称にそぐわない」といつも謙遜して、建築家への崇高な敬意を抱き、謙虚で、勤勉で、真面目で、優しく、正義感に満ちた、とてつもなく偉大な師匠に育てて頂いた事を心から誇りに思う。

最後にお会いしたのは、逝去される2カ月前。出澤さんのPCが故障したので、預かって修理してお返しした。「お礼に晩飯を食いに行けるかい?」と誘って頂いたが、息子と県立武道館へ空手の稽古に向かう途中だったのでお断りしてしまった。またいつでもゆっ

くりお会いできると思っていたから…悔やまれて仕方がない。その数日後、出澤さんより封書が届いた。中にはPC修理のお礼として、直筆の手紙と大切にされていたはずの吉村順三先生の作品集、そして吉村先生が新宮殿の設計を下りた際の記事のコピーが入っていた。吉村先生の建築家思想を通して、建築家としての在り方を伝えてくれたのだった。そして封書にはもう一枚入っていた。それは出澤さんのデスク前に額入りで飾られている吉村先生の一節

建築家として、もっともうれしいときは、建築ができ、そこへ人が入って、そこでいい生活がおこなわれているのを見ることである。日暮れどき、一軒の家の前を通ったとき、家の中に明るい灯がついて、一家の楽しそうな生活が感じられるとしたら、それが建築家にとっては、もっともうれしいときなのではあるまいか。

これについて出澤さんと語ったことはないが、所員時代に何度も目にしていた一節。8年間勤務して退所し、独立して15年が経ち、ちょうど僕が初心を忘れ始めた今、原点回帰の一節を送ってくれたのだろう。出澤さんが最も大切に銘心したこの一節。僕も今、出澤さんと同じように額に入れデスクの前に飾っている。いつか出澤さんのような建築家になれるように。

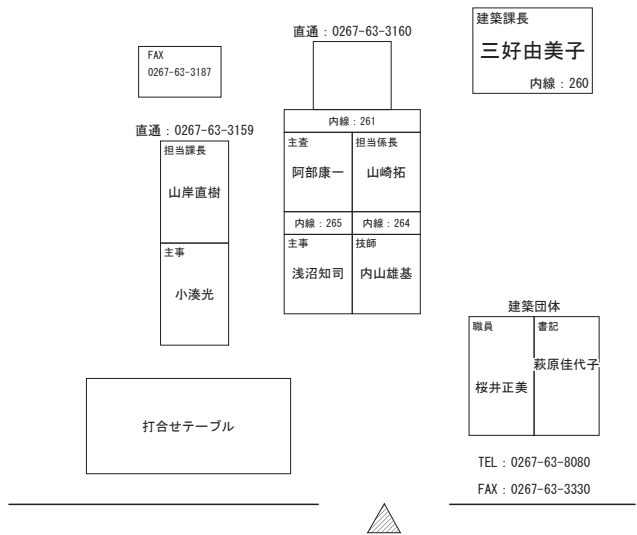
出澤さんが残してくれた寄稿は数多くあるが、平成25年の叙勲を授章した際の「私の独り言」が信州名匠会のWEBサイトにある。出澤さんの半生と共に、建築への思想と願いが綴られている。是非多くの方々が、この出澤さんの想いを共に受け継いでくれることを願います。

信州名匠会HP／旭日双光章（25年春の叙勲）の出澤潔さん語る



<http://www.meisyokai.com/report/kouen2/index.html>

佐久建設事務所 建築課 配置図



***** ●編集後記● *****

この冬は暖かな陽気で現場はとても助かっておりますが、4月からの建築基準法の改正を控え、何とかその前に確認申請を通したいと思いつつも、また、その中でも構造屋さんに依頼する様な建物は致し方ないと諦めても…と思いつつも、会報の発行作業も合わせり大変な時期。

皆様も建築確認については同様な状況ではと思いつつも、観音堂の千手観音様の様に手が沢山あれば、それでもアウトプットする頭が付いて行かない、いつか昇華し静寂が訪れる日は来るのか？
日々、精進して六根清浄。

T・R



長慶寺



観音堂内部

会報『ちくま』第72号 2025／2
発行者：(公社) 長野県建築士会 佐久支部
情報広報委員会
事務局：〒385-8533 佐久市跡部65-1
佐久建設事務所内
TEL 0267-63-8080
FAX 0267-63-3330
E-mail: ken8080@seagreen.ocn.ne.jp
支部HP <http://www.aba-saku.com/>
印刷：ヨダ印刷サービス株式会社
TEL 0267-22-3330



石仏
